心のケア相談研修 開催要項

1. 目的

本研修は、自然災害、犯罪被害、事故、感染症の流行や、それによる経済的、社会的な影響等に起因するストレスや不安に関する相談をはじめ、うつ病の予防や心の健康づくり、自殺防止にかかるメンタルヘルス上の相談等に適切に対応できる人材を確保するため、これらの相談対応に当たる精神保健医療福祉業務の従事者にとって、必要な知識や技術を習得するとともに、当該研修受講者が中心となって地域において研修や訓練を実施することにより、地域で心のケア相談に当たる人材を効果的に養成することを目的に開催する。

2. 主催

公益社団法人日本精神保健福祉士協会

3. 対象者

精神保健福祉士、公認心理師、保健師、看護師等

4. 開催日時

[第1回] 2025年11月11日(火) 12:00~16:50

[第2回] 2025年12月9日(火) 12:00~16:50

※「講義」は事前視聴とし、オンラインによる「演習及び全体会」実施前に2週間程度の視聴期間を設ける。

なお、第1回は都道府県コードの「01 北海道~24 三重県」または政令指定都市の「札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市（以上11市）」、第2回は「25 滋賀県~47 沖縄県」または政令指定都市の「京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市（以上9市）」に該当する者を受講対象とする。

5. 定員

[第1回] 185人 [第2回] 165人

6. 開催方法

- 1) 講義は事前視聴、演習及び全体会はオンラインとして実施する。
- 2) 演習が円滑に進行できるよう、各グループの受講者でファシリテーターを交代で担う。
- 3) 受講者同士の地域における組織を超えた連携や多職種同士のネットワークが構築できるよう、グループの構成メンバーは同じ地域で構成する。
なお、別日程での受講は出来ないこととする。

7. 地域での精神保健医療福祉の取組や研修実施に資する資材等の提供

1) 受講修了者名簿

地域での精神保健医療福祉の取組に活用できるよう、各都道府県・政令指定都市・中核市・保健所設置市・特別区や関連する機関等に配布するため、本研修では受講修了者名簿を作成する。

受講推薦にあたっては、受講修了者名簿への記載できる者を調整のこと。

2) 研修資材

受講修了者が主体となり、都道府県及び指定都市並びに地域の職能団体が心のケア相談に関する研修を実施する場合は、研修実施主体の希望に応じて、受講予定者名簿提出を要件に、オンラインまたは参集型の会場での上映を問わず、本協会が作成した研修資材（講義動画視聴 URL、演習資料等）を提供する。

申込書書式及び報告書書式、資材提供に係る著作権及び使用期限等の留意点は、別途案内とする。

8. 問い合わせ

公益社団法人日本精神保健福祉士協会 事務局（担当：奈良、依田）

TEL. 03-5366-3152 FAX. 03-5366-2993 E-mail : kensyu@jamhsw.or.jp

[作成日] 2025年7月1日

プログラム

(敬称略)

●事前視聴／講義（各1時間）

講義1 予防的観点からの心のケア

講師：西 大輔（東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野 教授）

講義2 自然災害等における心のケア

講師：高橋 晶（筑波大学 医学医療系臨床医学域 災害・地域精神医学 准教授／茨城県立こころの医療センター／筑波メディカルセンター病院）

講義3 感染症等における支援者の心のケア

講師：萱間 真美（国立健康危機管理研究機構 国立看護大学校 大学校長）

講義4 自殺防止等にかかる心のケア～TICの視点から～

講師：大岡 由佳（武庫川女子大学 心理・社会福祉学部 社会福祉学科 教授）

●演習及び全体会／Zoom オンライン

12:00	受付・出席確認（-12:15）
12:30	開講式・オリエンテーション
12:40	演習1「相談対応の事例演習」（95分）
14:15	休憩（10分）
14:25	演習2「相談対応場面を想定したロールプレイ」（55分）
15:20	休憩（5分）
15:25	演習3「地域における研修の実施に係るディスカッション等」（35分）
16:00	全体会「各班からの発表と総括」（45分）
16:45	閉講式（-16:50）

※通信環境等の影響により30分程度延長する場合があります。

※プログラムが一部変更になる場合があります。